

しろやま



城山病院は患者さまのために存在します

2023年2月号

医療法人春秋会 城山病院

大阪府羽曳野市はびきの2-8-1

TEL 072-958-1000

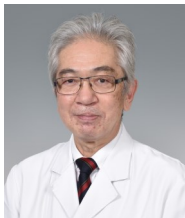
編集・発行 情報システム課

Vol. 68



SPECIAL

城山病院の昨年の活動報告について



城山病院
院長 石橋 孝嗣

新年あけましておめでとうございます。
城山病院の昨年2022年の活動報告と年頭のご挨拶をさせていただきます。

昨年の新たな活動として

振り返ると2022年は先端医療を導入し展開に取り組む最初の年となりました。

7月には変形性膝関節症の治療を、より多くの患者さまに提供するため、整形外科の村上友彦先生を中心にして「人工関節・膝関節機能再建センター」を立ち上げました。保存的治療として再生治療（自身の血液成分を用いたPRP療法）や、手術療法（関節温存や人工関節）があり、患者さんに適した治療を提供してまいります。同じく7月には手術室にハイブリッド手術室を設置いたしました。ハイブリッドとは、切開しないと目視することができない患部を放射線で透視しながら手術を行うことができるシステムです。心臓血管外科では大動脈弁狭窄の手術で胸を切開せずに、カテーテルを用いて心臓弁の置換を行ったり、整形外科では、側弯症における大掛かりな手術が、より安全でかつ低侵襲に行えるようになりました。

11月には外来化学療法室を10階へ移設し、一度に12人治療できるよう拡張いたしました。近年、消化器癌や乳癌、血液癌に対する化学療法は、入院せずに外来で行えるようになっており、当院でも外来での治療件数は増加しています。なお、10階にあった日帰り手術センターは2階に移設しています。

12月には手術支援ロボット「ダヴィンチXi」を導入し、「ロボット手術センター」をこの1月から稼働しております。結腸癌や直腸癌をはじめ、鼠経ヘルニアや将来的には前立腺癌に対する治療ができるようになります。「ダヴィンチXi」により、より高度な手術を安全に提供してまいります。

また、昨年から進めてきた大阪府の地域医療支援病院認定に向けた準備は順調に進んでおります。地域医療における当院の役割は急性期に特化した医療の提供となります。

つまり、クリニックから患者さんの紹介を受け、治療後はクリニックなど地域への戻す（逆紹介）ことを軸とする診療体系となります。そのため患者さまにはまず「かかりつけ医」となるクリニックを決めて

いただき、最初にクリニックを受診していただくことになります。「かかりつけ医」で急性期医療による治療が必要と判断した場合、城山病院宛に紹介状を書いていただき、持参して当院を受診する流れになります。

「かかりつけ医」を受診せず「紹介状なし」で受診された場合、「選定療養費」として治療費以外に別費用でご負担をかけることとなりますのでご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症関連について

当院は昨年来大阪府の要請に応え、重点医療機関として積極的に感染症対策に取り組んでまいりました。2022年11月30日までの11か月間の実績は、入院患者数283名、発熱外来患者数1,681名、抗体治療・外来診療患者数66名、ワクチン接種人数7,519名でした。本年も引き続き大阪府と協力して重点医療機関の責任を果たしてまいります。

診療実績と職員数について

最後に診療実績と職員数につきご報告いたします。

2020年11月から2021年10月までの期間と、2021年11月から2022年10月までの期間における診療実績を別表に示します。入院患者数と手術件数が若干減少、外来患者数と救急搬入件数は若干増加しました。

当院の職員数は、2022年12月1日現在で779名です。内訳は、医師が常勤58名、非常勤92名。看護職が336名（うち認定看護師7名）。

診療技術職が173名（リハビリ療法士78名、薬剤師15名、診療放射線技師27名、臨床検査技師18名、視能訓練士3名、臨床工学技士22名、管理栄養士10名）。事務職97名、入院支援職23名です。

2023年も「城山病院は患者様のために存在します」という理念のもと、多職種の職員全員がひとつのチームとして協働し、患者さまに安心して受診いただける診療サービスを提供してまいりますので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

期間	2020.11月～ 2021.10月	2021.11月～ 2022.10月
入院患者数	95,357	91,929
外来患者数	130,782	134,983
手術件数	3,845	3,741
救急搬入件数	3,849	4,079

ホームページはこちらの
QRコードからご覧ください。



地域医療支援セミナー 整形外科「人工関節・膝関節再建センターにおける最先端治療のご紹介」

2023年1月26日、近隣医療機関の先生方との連携を目的に地域医療支援セミナーが開催されました。地域医療支援セミナーは、感染防止対策としてオンラインで行われ、城山病院 人工関節・膝関節機能再建センター センター長 村上友彦より「人工関節・膝関節再建センターにおける最先端治療のご紹介」についてお話をされました。関節についての様々な手術方法や最新治療のPRP療法について、動画などを用いて分かりやすく説明されており、村上医師は日々の診療でもその患者さんがしたい事や保存治療でできるのか、それでは難しいのかを慎重に判断し、患者様がやりたいことをやれるように、関節外科医として最大限のサポートいたします。手術では骨切り術にしても人工関節手術にしても、オーダーメイドな治療を心掛けております。PRP療法をご希望の方は、まずは村上医師の外来診察を受診ください。



がん緩和ケア研修会を開催

この研修会は、がん等の診療に携わる全ての医療従事者が基本的な緩和ケアについて正しく理解し、緩和ケアに関する知識や技術、態度を修得することを目的としています。当日は、講義、事例検討、ロールプレイ等を行いました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、受講者は全てオンラインで計18名参加となり、受講者にとってより充実した緩和ケアの実践に向けて、認識を新たにする良い機会となりました。

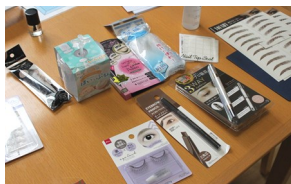
当院ではがん診療拠点病院として、これらの研修会を積極的に主催し地域におけるがん診療体制の向上に努めていきます。



がんサロン「白鳥の会」～アピアランスケア～

2023年1月24日に、「アピアランスケアについて」というテーマで、がんサロンを開催しました。アピアランスケアとは、がんやがん治療に伴う外見の変化による気持ちのつらさを和らげるケアのことを言います。

例えば、抗癌剤の影響で脱毛してしまったり、爪が変色して黒ずんでしまったりして、外出する気分になれないと話す患者様もいます。そのような患者様に、少しでも気持ちが和らぐように様々な方法があることをお伝えするのも、大事なケアのひとつです。患者様の参加は2名と少なかったのですが、「知らない情報を色々知ることができました」「眉毛が気になってたけど、シールや書いてもらうことで印象が変わって良かった」という意見も聞かれました。次回は、3/28の予定です。ぜひ、ご参加ください。



2月のワクチン接種予約について

2月18日(土)に城山病院で行われる新型コロナウイルス予防接種の予約受付をしています。

WEBでの予約になっていますので、ご希望の方は城山病院ホームページをご覧ください。接種は、羽曳野市在住3回目・4回目・5回目の接種券をお持ちの方とさせて頂いております。ワクチンの種類は「ファイザー社のオミクロン株BA.5対応2価ワクチン」となっております。新型コロナウイルス予防接種に関して詳しい説明は厚生労働省のホームページをご参考ください。

～ワクチン接種日～

・2月18日(土)9:00～12:00

QRコードよりご予約下さい。
「身分証明書」・「接種券」・「予診票」が必要になりますので、忘れずにお持ちください。

